

バローと高島屋 堅調

6月売上高 店舗改装や催事が効果

県内百貨店・主要小売店6月実績

●百貨店	売上高		客数
岐阜高島屋	36.6		▲2.9
●小売店	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	5.7	3.6	2.4
Vドラッグ	4.9	▲0.6	0.4
ホームセンターバロー	▲8.9	▲10.8	▲9.2
セリア	▲0.3	▲7.0	▲4.6
ヒマラヤ	▲17.1	▲18.0	▲12.4

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。Vドラッグは中部薬品など5社の合計。ホームセンターバローはホームセンターバローなど3社の合計

県内の百貨店・主要小売店の6月の売上高実績(速報値)は、新型コロナウイルス感染症拡大による巣ごも

り需要の反動減がある中、バローは売上高、客数ともに2カ月連続で前年同月上回った。バローは総菜や新商品のパンが好調。改装店舗の売り上げも堅調で改装効果が継続している。担当者は「コロナワクチンの接種が進み、高齢者の買い物頻度が

増えたことが推察される」と分析する。岐阜高島屋は、毎年5月下旬に開く会員向けの催事をまん延防止等重点措置を受けて6月にずらし、売上高が大きく伸びた。Vドラッグは化粧品、医薬品の売り上げが持ち直し、既存店

売上高と客数はほぼ横ばいだった。ほかの3社は売上高と客数が前年同月を下回った。セリアは全店売上高が約6年ぶりに割り込んだ。ヒマラヤも下回ったが、ゴルフは前年同月上回った。